

放課後等デイサービス自己評価 結果報告 (令和4年3月)

放課後等デイサービスPower to live

		チェック項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	改善目標 工夫している点等
環境・体制整備	1	利用定員は指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%			
	2	職員の配置や専門性は適切であるか	100%			
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置、必要に応じたバリアフリー化の配慮など適切になされているか	50%		50%	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、事業所には日常生活、社会生活に身体機能上の制限を受ける子が居ないため設置していない。 ・現在、配慮を必要とする子が居ないためなされていないが必要に応じて検討していく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		100%		<ul style="list-style-type: none"> ・目標の設定を行い、周知は出来ているが、継続が難しい現状。振り返りは出来ていない時はある。 ・方針を決め実行するが、振り返りが不十分なため、振り返り改善に繋がられるようにしていきたい。
	5	保護者向け評価表等アンケート調査を実施して保護者の意向を把握し、業務改善に繋がっているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練の様子等をお便りで知って頂けるよう掲載する事や口頭でお知らせするよう改善している。 ・保護者と話す機会が多いため、その場であった話の内容は振り返りで共有し必要に応じて対応を改善している。
	6	この自己評価の結果を、お便りやホームページ等で公開しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・法人のホームページにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に繋がっているか	50%	50%		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートは実施しているが、それ以外の評価は実施していない。 ・保護者（法人内事業所を子どもが利用中）が非常勤で勤務して下さっているため意見を直接頂く事が出来る。→全体の会議を設定し定期的を実施したい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・法人内研修の機会が増え、他事業所の職員と一緒に学び合う事が出来るため質の高い研修が受けられている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・事前にあセスメントを行い、アセスメントを基に個別支援計画の作成を行っている。 ・管理者が実際に子どもに接し支援しているためアセスメント等に加え、よりニーズや現状に合った計画が作成されている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	50%	50%		<ul style="list-style-type: none"> ・タイムアウト等マニュアルに沿って適応行動を示す。 ・十分に使用する事が出来ていないため子どもの状況を見極め、今後取り入れていきたい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・職員で担当の振り分けを行っている。個別での対応が必要な場合や各職員の捉え方の違い等すり合わせをしている。 ・セカンドステップや個々の課題等を職員会議にて共有し、活動プログラムに反映出来るよう工夫している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・日々活動プログラムの内容を変え、子どもの課題や保護者のニーズに応えられるよう意識している。

適切な支援の提供					・固定化しないよう努めているが、今後非常勤含め各々のアイデアを持ち寄る事で工夫に繋げていきたい。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じ、課題を決め細やかな支援を行っているか	50%	50%	・現在はコロナ禍であるため選択肢は限られるが、休日には外出や休日ならではの活動時間が充実できるような支援を心掛けている。	
	14	子どもの状況に応じ、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて個別支援計画を作成しているか	100%		・個々の特性に応じ、個別活動・集団活動を使い分けている。	
	15	支援開始前に職員間で必ず打ち合わせをし、支援の内容や役割分担について確認しているか	100%		・出勤後、職員でのミーティングを行い、活動内容・子どもの現状を踏まえた支援の方向性等を確認している。 ・職員と非常勤とでそれぞれ打ち合わせをしているが、稀に活動の目的に対する認識のズレが生じているため今後改善が必要。	
	16	支援終了後には、職員間で支援の振り返りを行い、気づいた点を共有しているか	50%	50%	・非常勤は活動前に話を行っている。子どもの様子等気づいた点の情報共有を行っているが、支援についての振り返りは必要に応じて行うようにしている。 ・良い点についても合わせて振り返りが出来るように意識していきたい。	
	17	日々の支援に関し正しく記録をとる事を徹底し、検証・改善に繋げているか	100%		・記録の取り方に関して時間との兼ね合いで工夫・改善が必要。	
	18	定期的にモニタリングを行い個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			
関係機関や保護者との連携	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	100%			
	20	学校との情報共有（年間予定下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡等）を適切に行っているか		50%	50%	・事業所では送迎を行っていないため、学校との情報共有等は行っていない。 ・送迎がないため学校とのやり取りはほぼ無い。（学校からの引き継ぎ内容は保護者から共有してもらっている。）
	21	相談支援事業所のサービス担当者会議に子どもの状況に精通した者が参画しているか	100%			・実際に子どもと接し支援している職員が参画している。
	22	就学前に利用していた保育園・児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		50%	50%	・R3年度は未就学からの利用が無かったため行っていない。 ・現在、新1年生の利用が無いため情報共有を行えていないが、来年度は新1年生の利用があるため必要に応じて行っていきたい。
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		50%	50%	・R3年度は対象の子が居なかったため行っていない。 ・現状、卒業生を出した実績が無いため、今後必要に応じて行っていきたい。
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を	50%		50%	

関係機関や保護者との連携		受けているか				
	25	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	50%	50%		・休日に公園に遊びに行く等地域との交流を行えるようにしている。 ・コロナ禍にて戸外活動の機会がほとんど無い現状のため、機会を設ける事が難しい。
	26	自立支援協議会へ積極的に参加しているか	50%	50%		
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			・保護者による送迎であるため子どもの来所時・降所時に子どもの状況の確認と課題についてお伝えしている。 ・子どもの課題だけでなく良かった所についても伝える事で、保護者の新たな気づきに繋がる事もある。
保護者への説明責任等	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	50%	50%		・都度対応についての困り感等お聞きしどのような対応が良いか一緒に考える時間を設けている。
	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%			・自身で返答が難しい時には代表理事に相談し助言を受け、支援を行っている。
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100%			・現在は行えていないが、親の会の茶話会を通して、連携の場を提供している。 ・親の会や保護者研修会といった活動の場が広がっている。
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			
	33	定期的にお便り等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			
	34	個人情報に十分注意しているか	100%			
	35	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			
非常時の対応	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		50%	50%	・コロナ禍のため地域交流カフェの実施が難しく機会が無い現状である。
	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		100%		・契約時にマニュアル等を見てもらう事や口頭でのお伝えをしているが完全ではない。 ・災害時や感染者が出た時等の対応をより具体的に分かりやすくしたものを作成していきたい。
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			・訓練を行う人が曜日で限定されてしまっているため、全員に説明だけでも行き届くよう工夫が必要。

非常時の対応	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	100%			
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%			・食品を扱う活動を行う際には、事前に保護者へ確認している。
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		100%		・ヒヤリハットが実際に起こった時のみ記録している。今後は週一会議等に入れていく・不十分なため今後体制を整えていく必要がある。